

2005 年 11 月 1 日

## 第三次小泉改造内閣に望む

社団法人 関西経済連合会

わが国経済は、原油価格等の高騰や海外経済の動向に対する懸念を抱えているものの、目下回復基調にあると言える。しかしながら、中長期的な視点で見れば、危機的な財政状況や、少子高齢化の進展による社会保障費の増加、アジア近隣諸国との不安定な外交関係など依然として脆弱な基盤に立っていることは明らかである。

今般発足した新内閣においては、今後のわが国の持続的発展に向けた強固な基盤の構築に着手することが急務である。そのためには、先の郵政民営化法の成立を皮切りに、今後早急に取り組むべき構造改革、特に社会保障制度改革をはじめとする財政の立て直しについて、具体的なスケジュールと道筋を示して確たる軌道に乗せ、着実かつ強力に進めるべきである。また、産業競争力の強化や、アジア近隣諸国との関係改善など内外の重要課題についても迅速な対応を期待する。

かかる観点から当会としては、以下の課題に重点的に取り組まれることを強く望む。

## 記

### 1 . 企業、個人、地域の「活力」を引き出す構造改革の断行

- ( 1 ) 徹底した歳出削減や公務員改革など「小さな政府」の実現
- ( 2 ) 社会保障制度（年金・医療・介護）の総合的・一体的改革

### 2 . 地方分権改革による国の新しい枠組みづくり

- ( 1 ) 「地方にできることは地方に」の原則に基づいた国と地方の  
役割分担の見直し
- ( 2 ) 国と地方の税財政改革（三位一体改革）の加速
- ( 3 ) 国と地方の役割分担を画期的に変える「道州制」の導入

### 3 . 産業競争力強化のための基盤整備

- ( 1 ) 法人関連税制をはじめとするわが国税制の国際的なイコール・  
フットィングの確保
- ( 2 ) 民間の創意工夫による経済活性化のための規制改革・民間開放  
の一層の推進
- ( 3 ) 科学技術創造立国の実現に向けた政策の強化（第3期科学技術  
基本計画における政府研究開発投資額の拡充、基礎研究の推進、  
イノベーション創出策の充実、研究開発促進税制の延長など）

- ( 4 ) 東アジア経済圏の形成に向けた戦略的な取り組み促進  
( F T A ・ E P A による貿易・投資のさらなる自由化・円滑化  
など )

#### **4 . 関西におけるプロジェクトなどの推進**

- ( 1 ) 関西国際空港・阪神港の整備推進
- ( 2 ) 総合的な物流ネットワーク構築に向けた高速道路の整備  
( 第二名神高速道路、大阪都市再生環状道路など )
- ( 3 ) 都市再生プロジェクトの推進 ( 大阪駅北地区開発、  
生活支援ロボット産業拠点、基幹的広域防災拠点など )
- ( 4 ) 関西文化学術研究都市の整備推進
- ( 5 ) 2 0 0 8 年サミット ( 主要国首脳会議 ) の関西開催

以 上